

東南アジア考古学会 会誌投稿規定

2008年制定・施行
2012年改訂

第1条 会誌の名称と目的

会誌は和文名『東南アジア考古学』、英文名『Journal of Southeast Asian Archaeology』とし、主に会員による研究成果の発表、および東南アジア考古学に関連する情報を提供することを目的として、年に1回刊行する。

第2条 投稿資格

投稿は原則として東南アジア考古学会会員に限る。会員は自由に投稿することができるが、会費未払いの会員による投稿は受理しない。また、編集委員会は会員または非会員に対して寄稿を依頼することがある。稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。

第3条 掲載原稿

掲載される原稿は、東南アジア考古学の発展に貢献するものでなければならない。原稿の種類は以下の通りとする。

- a. 論文（研究成果の発表）
- b. 研究ノート（試論的報告、史料・資料の提供など）
- c. 研究展望（研究分野または学界全体の動向の展望）
- d. 調査速報（発掘調査等の速報）
- e. 書評・紹介（新刊書・資料・研究活動などの紹介）

第4条 原稿の枚数

文字版面はA4版、余白は上下左右20mm、標準文字数53字×45行で、規定枚数は以下の範囲内とする（カッコ内は原稿用紙換算、いずれも表題・要旨・図表・註・文献目録を含む）。

- | | | |
|----------|-----|-----------|
| 論文・研究ノート | ・・・ | 14頁（約83枚） |
| その他 | ・・・ | 7頁（約42枚） |

第5条 原稿の作成

使用言語は原則として日本語と英語とする。日本語・英語以外の言語での原稿、特殊文字のある原稿については、投稿前に編集委員会に相談すること。書式等原稿の詳細については別途定める執筆要項を参照すること。

第6条 投稿の手続き

1. 別途定める執筆要項にそった完成原稿を学会事務局へ提出する。送付先、送付方法等は学会事務局宛 Eメールなどを通じ、編集委員会へ問い合わせること。

2. 原則としてワープロまたはパソコンで作成しプリント・アウトしたものと共に、ファイルをフロッピーまたは CD に保存して同封すること

3. 原稿には、原稿の種別、表題、執筆者の氏名、所属、郵便住所、電話・ファックス番号、メールアドレスを記した紙を添付すること。送付された原稿（図版、写真、フロッピーディスクなどを含む）は原則として返却しない。

4. 原則として原稿締め切りは毎年5月末日とする。締め切り以降に投稿された原稿は次々号の査読、掲載の対象とする。なお依頼原稿については、編集委員会と著者の合意の上で別途締め切り日をもうける。

5. 論文・研究ノート・研究展望については、投稿、依頼を問わず別途に定める査読規定に基づき、原則として2名の査読者（レフェリー）による査読の上、編集委員会がその採否ならびに分類を決定する。この際、原稿採用の条件として原稿の修正を求める場合がある。

6. 著者による校正は原則として一回のみとする。完成原稿での審査のため、誤植や謝辞の追加以外の変更は認めない。誤植以外の原稿の変更があった場合は、原則として当該年での掲載を中止し、次年に改めて査読審査を行う。なお、査読審査の結果として原稿の修正を求められ、修正に応じた場合はその限りではない。

7. 論文・研究ノート・研究展望・調査速報に採用された原稿については、各原稿のそれぞれの執筆者に雑誌3冊、抜き刷り50部を無料で贈呈する。共著の場合は筆頭者のみに贈呈する。